

結詞例

078664-000-3

815.7-Ka323m

結詞例

藤原 雅澄 / 著

M26.12

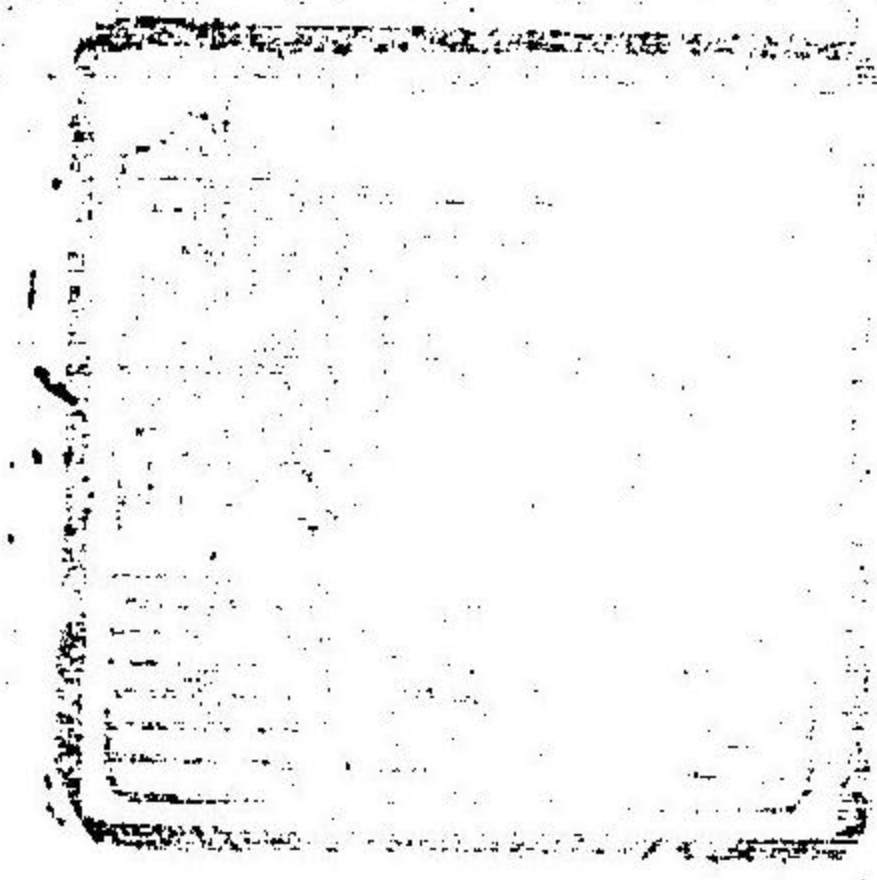
DAC-2408



815.7

Ka323m

815.7 Ka 323 cm



結詞例

目録

凡例

曾之部 初丁 むすびよかゝをらざるぞ十三ヶ條 二丁

乃之部 四丁

也之部 六丁 結びよかゝをらざるや四十三ヶ條 八丁

加之部 十四丁 くさぐのか三十八ヶ條 十六丁

何之部 二十丁 むすびよかゝをらざる疑の例二十條 廿二丁

波之部 廿五丁

毛之部 廿七丁 別格 廿九丁

結詞例 目録



244902

徒之部 三十丁

こそ之部 三十二丁 別格 三十五丁

かも之部 三十六丁

あな之部 三十六丁

か之部 三十七丁 別格 三十七丁

都々之部 三十九丁 別格 三十九丁

くさぐさの疑詞 四十丁 や重 ヤトあ重 疑詞重

くさぐさの自の詞 四十一丁 よう同ゆ 同上よ 同上ゆり

よりノ意ノより きノ意ノより 同上ゆ又よ よてノ意ノよ 同上よ よまらうてノ意ノより

同上よ

くさぐさのとの詞 例 十四ヶ條 四十二丁

くさぐさのみの詞 例 八ヶ條 四十四丁

くさぐさの詞の例 四十五丁 せ けめ けれ てれ

くさぐさの格の例 四十六丁

上へかへりて切る格 四十六丁

重なるてふをはの格 四十六丁

二重よとのふるてふをはの格 四十六丁

一つの詞よていひうけて二所よて結べる格 四十七丁

二つの詞よていひうけて一所よて結べる格 四十七丁

結び詞をわきながら下へつゞくる格 四十七丁

いひうけよて結び詞を畧きとる格 四十八丁

動うぬ詞よかりよ動く詞をそへて結べる格 四十八丁

一ッの格 四十九丁 又一ッの格 四十九丁

過去のことを現在の詞よていへる格 四十九丁

疑ふべきてよをその格 五十丁

今世の人よ耳遠き格 五十二丁

をり びみゆ びけり びけむ

ごとく 物を意もの とよ 一種らー

けく しく いまき えゆく

えに なくよ かねなく とへをとへむ

とへと てへえ さうよけり なうり

助辞い 同上ゑ ひつき つきひ

と通の ふるく かるく やゆく

わくく かぬく ぬるく 志く

まほく まい むの

志りよつく詞を第二句の頭よたける例 五十八丁

序をおきとるまぶらの例 五十八丁

九例

一各條の首は古とあるせは、萬葉集以前の歌のみある格なり。今とあるせると、今京以來の歌のみある格なり。何ともあるさるは、古今相通をいへる格とあるべし。

一「幾丁」二「幾丁」とのみあるせるは、万葉の歌なり。記とあるせるは、古事記・紀とあるせるは、日本紀なり。其他書名を畧き書ることあれども、まづふたど、けれを、こゝよことわらば、

一萬葉集の舊本、其他の古き書より出たるは、字の誤訓のと

ふ

古今 *f* *u* *fu* *fu* *f* *u* *f* *u* *fu* *f* *u* *f* *u* *f* *u* *f* *u* *f* *u* *f* *u*

む

古今 *m* *u* *mu* *mu* *m* *u* *m* *u* *mu* *m* *u* *m* *u* *m* *u* *m* *u* *m* *u* *m* *u*

む

拾遺 *m* *u* *mu* *mu* *m* *u* *m* *u* *mu* *m* *u* *m* *u* *m* *u* *m* *u* *m* *u* *m* *u*

む

四書 *m* *u* *mu* *mu* *m* *u* *m* *u* *mu* *m* *u* *m* *u* *m* *u* *m* *u* *m* *u* *m* *u*

る

古今 *r* *u* *ru* *ru* *r* *u* *r* *u* *ru* *r* *u* *r* *u* *r* *u* *r* *u* *r* *u* *r* *u*

今

る

普万 *r* *u* *ru* *ru* *r* *u* *r* *u* *ru* *r* *u* *r* *u* *r* *u* *r* *u* *r* *u* *r* *u*

現在

古今 *r* *u* *ru* *ru* *r* *u* *r* *u* *ru* *r* *u* *r* *u* *r* *u* *r* *u* *r* *u* *r* *u*

け

古今 *k* *e* *ke* *ke* *k* *e* *k* *e* *ke* *k* *e* *k* *e* *k* *e* *k* *e* *k* *e* *k* *e*

過去

後撰 *k* *e* *ke* *ke* *k* *e* *k* *e* *ke* *k* *e* *k* *e* *k* *e* *k* *e* *k* *e* *k* *e*

ま

古今 *m* *a* *ma* *ma* *m* *a* *m* *a* *ma* *m* *a* *m* *a* *m* *a* *m* *a* *m* *a* *m* *a*

ら

古今 *r* *a* *ra* *ra* *r* *a* *r* *a* *ra* *r* *a* *r* *a* *r* *a* *r* *a* *r* *a* *r* *a*

右に 出せる 中上より せよ

結詞例 二

まこと古人のよみとる例の後世よまれて傳をらぬよこそあらめ古風の歌なりとてよむまづきよあらざれば古今相通の例とす後皆これよ准ぶゾー。

○以下むすびよかゝらるるぞの詞の例をいさだす

切ルぞ

十一 あまみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
十二 わがみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
十三 よのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
古今 わがみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
十四 ひがみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
後撰 きよみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし

開カケぞ

龍田風神
祭祝詞

あまみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし

同上
ぞも

四十九 あまみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
同廿三 あまみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
十五 あまみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
十三 あまみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
十二 あまみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
十四 あまみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
後拾遺 あまみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし

添ソベぞも

十一 あまみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし
十五 あまみよのちかまふさのさし かたのさし かたのさし かたのさし かたのさし

む

古本 *みぞのむらさき*

今む

大和物語 *みぞのむらさき*

る

古本 *みぞのむらさき*

今る

菅万 *みぞのむらさき*

現在き

古本 *みぞのむらさき*

と

古本 *みぞのむらさき*

土左日記 *みぞのむらさき*

る

九ノ下 *みぞのむらさき*

也之部

く

古本 *みぞのむらさき*

す

十四下 *みぞのむらさき*

つ

源氏 *みぞのむらさき*

まやハ

古今 いそひのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

反レ意ノ
や

二三 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

同 あらたのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

紀 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

古今 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

六ノ廿 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

七ノ九 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

九ノ九 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

ケレニヤ
けや

四ノ二 あらたのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

ホレニヤ
せや

シレニヤ
かハ

四ノ三 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

一ノ廿 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

四ノ廿 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

二ノ廿 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

古今 うまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

一ノ廿 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

レニヤ
めや

古今 やまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

續後紀 ぬまのたふらふのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

レニヤ
やハ

古今 あらたのちかたのへをたふらふにふしとよかかハ

やハと云ること万葉以往の歌よなし九廿八下よ松反
四臂而有八羽云々とあるのみなり。あられども其歌誤

字多しと見えれば、信^信かこし。十七よ。麻津我^{麻津}弊^弊里^里之比^比
 尔^ニ底^テ安^ア礼^レ可^カ母^モと云歌あれば、ハ^ハ羽^ハハ、ハ^ハ母^モの誤ならむと
 云説あり。

古

頼^頼
や

三十一 かなむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 四十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 六十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 七十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 八十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし

古

同上
やも

三十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 四十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 五十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 六十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 七十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし

紀

ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし

今

同上
や

古今 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 一十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 二十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 三十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 四十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 五十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 六十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし
 七十一 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし

同上
れや

今

れや

新古今 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし

何れや

後拾遺 ありむのちむかんしむたはせむしかなむのちむかんしむたはせむし

古

をヨシや

十廿一 かのうしほしちよはゆかむのこゝろをばりしをばりし

をナや

同

たれをよまばあひむくたむねのあきかすなりしをばりしゆあふ
おれあてりしやこひかふるあすむらびんやまをきかむくしなだ

古

をナや

紀

あまのみまもりのあましかなあ

記

しほのびりれをあね

紀

みまきつるびんあや

同

あいのちかたをばりしをばりしをばりしをばりし

同

ちよびたかのあきかすたか

記

あまあきかむのくちをばりしをばりしをばりしをばりし

歎息ヲ

四廿分

あまあきかむのくちをばりしをばりしをばりしをばりし

九十分

あまあきかむのくちをばりしをばりしをばりしをばりし

詠ヲや

紀

あまあきかむのくちをばりしをばりしをばりしをばりし

三十分

あまあきかむのくちをばりしをばりしをばりしをばりし

十十分

あまあきかむのくちをばりしをばりしをばりしをばりし

記

あまあきかむのくちをばりしをばりしをばりしをばりし

五分

あまあきかむのくちをばりしをばりしをばりしをばりし

古今

あまあきかむのくちをばりしをばりしをばりしをばりし

詠ヲや

三十分

あまあきかむのくちをばりしをばりしをばりしをばりし

二十分

あまあきかむのくちをばりしをばりしをばりしをばりし

五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

記 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

同 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

古今 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

四廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

一種

紀 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

又一種

六廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

又一種

紀 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

又一種

ヤラン

五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

カヅフル

風雅 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

ヨシ

五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

記 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

平カケ

五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五 五廿五

ナキナキ ㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯㊰
記 ㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸
同 ㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

カ ナカニヨリ

昔万 ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

加之部

ク

ニキナキ ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
ナキナキ ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
後撰 ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

ス

ナキナキ ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

ツ

ヌ ナ

ナキナキ ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
ナキナキ ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

フ

ナキナキ ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

ム

ナキナキ ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

モ

古今 ナキナキ ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

も

いそがしき ともてのまゝのいそがしき

め

あだの浦を朝づむねに

む

かぞへなむかひ

る

千載

ま

わたり

い

新勅

○以下くぎぶのかれ詞の例をいだに

ま

なれがよか

ら

記

あ

五七

切

二十

切

五七

のこ
ウリノ意

十冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん
十冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん
同冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん

のこ
ウリノ意

四冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん
古今 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん

のこ
ウリノ意

古今 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん

のこ
ウリノ意

十冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん
十冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん

のこ
ウリノ意

十冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん

のこ
ウリノ意

十冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん
同冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん
十冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん
古今序 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん

今

うや

拾遺 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん

古

のこ
イニ残タル

十冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん
同冊 ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん

カヤウニカナンナラセタマヘケム
をれの

三冊 うちちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん ちんきん

ひけめのちんきん
カヤウノ地ニ家造シテスマエケル

同 今 今 カヤウノ昔ハアルナラン

十 五 五 ナノナノ

十 三 五 五 ウラモ行宮ヨツクリ仕ノイッリヤン

同 五 五 五 カクハカクナラセタマイロヤン

五 五 五 コノナツカキキ時ヲオキテスギニヤン

五 五 五 レノモ

記 仲 表 メデタクアルラン

レノモ ウマクアルラン

按よ。上よりその詞よてかゝりて下よその
結び詞をいえず言の外よふくみ持せしること古風の
長歌よ多しその歌を全らあぢなひ見ざれば分りがこ

けれど今所せけれどそのかゝるをのこあげておろすべ
しとゝするありくそゝり余が永言格おつきて考べ

む 十 五 五 ム

ム 十 五 五 ム

ム 十 五 五 ム

ム 十 五 五 ム

ム 十 五 五 ム

ム 十 五 五 ム

一 一
 古今 何
 今 何
 今 何
 今 何
 今 何

二 二
 古今 何
 今 何

何之部

三 三
 古今 何
 今 何

四 四
 狭衣
 今 何
 今 何

五 五
 今 何
 今 何

六 六
 新古今
 今 何
 今 何

七 七
 十載
 今 何
 今 何

八 八
 續後撰
 今 何
 今 何

51

壬生集 あづまのけしきよきとてかたみけりしむらさきあはれなるを

○以下むまびよかゝたらざる疑ひの例をいだし

何也

四世 ありてはむらさきよきとてかたみけりしむらさきあはれなるを
同世 ありてはむらさきよきとてかたみけりしむらさきあはれなるを

五九 ちねよのむらさきあはれなるを

九廿 ちねよのむらさきあはれなるを

十廿 ちねよのむらさきあはれなるを

十一 ちねよのむらさきあはれなるを

十二 ちねよのむらさきあはれなるを

十三 ちねよのむらさきあはれなるを

何と

古今 ちねよのむらさきあはれなるを
古今 ちねよのむらさきあはれなるを

何也

十四 ちねよのむらさきあはれなるを
ちねよのむらさき

何

古今 ちねよのむらさきあはれなるを
古今 ちねよのむらさきあはれなるを

何

古今 ちねよのむらさきあはれなるを
古今 ちねよのむらさきあはれなるを

十五 ちねよのむらさきあはれなるを

何^{他云} 古^今 拾^遺 紀 拾^遺 紀 拾^遺 紀

何^願 古^今 拾^遺 紀 拾^遺 紀 拾^遺 紀

何^甚 古^今 拾^遺 紀 拾^遺 紀 拾^遺 紀

何^種 古^今 拾^遺 紀 拾^遺 紀 拾^遺 紀

何^す 古^今 拾^遺 紀 拾^遺 紀 拾^遺 紀

何^ぞ 古^今 拾^遺 紀 拾^遺 紀 拾^遺 紀

す 十廿一 *su* 十廿二 *su* 十廿三 *su* 十廿四 *su* 十廿五 *su* 十廿六 *su* 十廿七 *su* 十廿八 *su* 十廿九 *su* 三十 *su*

紀 *su* 十廿一 *su* 十廿二 *su* 十廿三 *su* 十廿四 *su* 十廿五 *su* 十廿六 *su* 十廿七 *su* 十廿八 *su* 十廿九 *su* 三十 *su*

ず 古今 *su* 十廿一 *su* 十廿二 *su* 十廿三 *su* 十廿四 *su* 十廿五 *su* 十廿六 *su* 十廿七 *su* 十廿八 *su* 十廿九 *su* 三十 *su*

一廿一 *su* 十廿二 *su* 十廿三 *su* 十廿四 *su* 十廿五 *su* 十廿六 *su* 十廿七 *su* 十廿八 *su* 十廿九 *su* 三十 *su*

詞花 *su* 十廿一 *su* 十廿二 *su* 十廿三 *su* 十廿四 *su* 十廿五 *su* 十廿六 *su* 十廿七 *su* 十廿八 *su* 十廿九 *su* 三十 *su*

^{イニ終ル}つ 十廿一 *su* 十廿二 *su* 十廿三 *su* 十廿四 *su* 十廿五 *su* 十廿六 *su* 十廿七 *su* 十廿八 *su* 十廿九 *su* 三十 *su*

古今 *su* 十廿一 *su* 十廿二 *su* 十廿三 *su* 十廿四 *su* 十廿五 *su* 十廿六 *su* 十廿七 *su* 十廿八 *su* 十廿九 *su* 三十 *su*

十廿一 *su* 十廿二 *su* 十廿三 *su* 十廿四 *su* 十廿五 *su* 十廿六 *su* 十廿七 *su* 十廿八 *su* 十廿九 *su* 三十 *su*

古今 *su* 十廿一 *su* 十廿二 *su* 十廿三 *su* 十廿四 *su* 十廿五 *su* 十廿六 *su* 十廿七 *su* 十廿八 *su* 十廿九 *su* 三十 *su*

二十廿一 *su* 二十廿二 *su* 二十廿三 *su* 二十廿四 *su* 二十廿五 *su* 二十廿六 *su* 二十廿七 *su* 二十廿八 *su* 二十廿九 *su* 三十 *su*

金葉 *su* 二十廿一 *su* 二十廿二 *su* 二十廿三 *su* 二十廿四 *su* 二十廿五 *su* 二十廿六 *su* 二十廿七 *su* 二十廿八 *su* 二十廿九 *su* 三十 *su*

す

ず

一

つ

ぬ

ふ

む

五甲子 布施 *mu* 十廿一 *mu* 十廿二 *mu* 十廿三 *mu* 十廿四 *mu* 十廿五 *mu* 十廿六 *mu* 十廿七 *mu* 十廿八 *mu* 十廿九 *mu* 三十 *mu*

伊勢物語 *mu* 十廿一 *mu* 十廿二 *mu* 十廿三 *mu* 十廿四 *mu* 十廿五 *mu* 十廿六 *mu* 十廿七 *mu* 十廿八 *mu* 十廿九 *mu* 三十 *mu*

む

六廿一 *mu* 六廿二 *mu* 六廿三 *mu* 六廿四 *mu* 六廿五 *mu* 六廿六 *mu* 六廿七 *mu* 六廿八 *mu* 六廿九 *mu* 七十 *mu*

な

三廿一 *na* 三廿二 *na* 三廿三 *na* 三廿四 *na* 三廿五 *na* 三廿六 *na* 三廿七 *na* 三廿八 *na* 三廿九 *na* 四十 *na*

む

七廿一 *mu* 七廿二 *mu* 七廿三 *mu* 七廿四 *mu* 七廿五 *mu* 七廿六 *mu* 七廿七 *mu* 七廿八 *mu* 七廿九 *mu* 八十 *mu*

む

九廿一 *mu* 九廿二 *mu* 九廿三 *mu* 九廿四 *mu* 九廿五 *mu* 九廿六 *mu* 九廿七 *mu* 九廿八 *mu* 九廿九 *mu* 百 *mu*

も シ意

西字 カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko* カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko*

ゆ

一廿字 ア *a* イ *i* ウ *u* エ *e* オ *o* カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko* サ *sa* シ *shi* ス *su* セ *se* ソ *so* タ *ta* チ *chi* ツ *tsu* テ *te* ト *to* ナ *na* ニ *ni* ノ *no* ハ *ha* ヒ *hi* フ *fu* ヘ *he* ホ *ho* マ *ma* ミ *mi* ム *mu* メ *me* モ *mo*

ろ

一廿字 ア *a* イ *i* ウ *u* エ *e* オ *o* カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko* サ *sa* シ *shi* ス *su* セ *se* ソ *so* タ *ta* チ *chi* ツ *tsu* テ *te* ト *to* ナ *na* ニ *ni* ノ *no* ハ *ha* ヒ *hi* フ *fu* ヘ *he* ホ *ho* マ *ma* ミ *mi* ム *mu* メ *me* モ *mo*

り

一廿字 ア *a* イ *i* ウ *u* エ *e* オ *o* カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko* サ *sa* シ *shi* ス *su* セ *se* ソ *so* タ *ta* チ *chi* ツ *tsu* テ *te* ト *to* ナ *na* ニ *ni* ノ *no* ハ *ha* ヒ *hi* フ *fu* ヘ *he* ホ *ho* マ *ma* ミ *mi* ム *mu* メ *me* モ *mo*

き 過去

一廿字 ア *a* イ *i* ウ *u* エ *e* オ *o* カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko* サ *sa* シ *shi* ス *su* セ *se* ソ *so* タ *ta* チ *chi* ツ *tsu* テ *te* ト *to* ナ *na* ニ *ni* ノ *no* ハ *ha* ヒ *hi* フ *fu* ヘ *he* ホ *ho* マ *ma* ミ *mi* ム *mu* メ *me* モ *mo*

き 現在

一廿字 ア *a* イ *i* ウ *u* エ *e* オ *o* カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko* サ *sa* シ *shi* ス *su* セ *se* ソ *so* タ *ta* チ *chi* ツ *tsu* テ *te* ト *to* ナ *na* ニ *ni* ノ *no* ハ *ha* ヒ *hi* フ *fu* ヘ *he* ホ *ho* マ *ma* ミ *mi* ム *mu* メ *me* モ *mo*

く 過去

一廿字 ア *a* イ *i* ウ *u* エ *e* オ *o* カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko* サ *sa* シ *shi* ス *su* セ *se* ソ *so* タ *ta* チ *chi* ツ *tsu* テ *te* ト *to* ナ *na* ニ *ni* ノ *no* ハ *ha* ヒ *hi* フ *fu* ヘ *he* ホ *ho* マ *ma* ミ *mi* ム *mu* メ *me* モ *mo*

ま

一廿字 ア *a* イ *i* ウ *u* エ *e* オ *o* カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko* サ *sa* シ *shi* ス *su* セ *se* ソ *so* タ *ta* チ *chi* ツ *tsu* テ *te* ト *to* ナ *na* ニ *ni* ノ *no* ハ *ha* ヒ *hi* フ *fu* ヘ *he* ホ *ho* マ *ma* ミ *mi* ム *mu* メ *me* モ *mo*

ろ

一廿字 ア *a* イ *i* ウ *u* エ *e* オ *o* カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko* サ *sa* シ *shi* ス *su* セ *se* ソ *so* タ *ta* チ *chi* ツ *tsu* テ *te* ト *to* ナ *na* ニ *ni* ノ *no* ハ *ha* ヒ *hi* フ *fu* ヘ *he* ホ *ho* マ *ma* ミ *mi* ム *mu* メ *me* モ *mo*

ろ 添
も

一廿字 ア *a* イ *i* ウ *u* エ *e* オ *o* カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko* サ *sa* シ *shi* ス *su* セ *se* ソ *so* タ *ta* チ *chi* ツ *tsu* テ *te* ト *to* ナ *na* ニ *ni* ノ *no* ハ *ha* ヒ *hi* フ *fu* ヘ *he* ホ *ho* マ *ma* ミ *mi* ム *mu* メ *me* モ *mo*

毛之部

く

一廿字 ア *a* イ *i* ウ *u* エ *e* オ *o* カ *ka* キ *ki* ク *ku* ケ *ke* コ *ko* サ *sa* シ *shi* ス *su* セ *se* ソ *so* タ *ta* チ *chi* ツ *tsu* テ *te* ト *to* ナ *na* ニ *ni* ノ *no* ハ *ha* ヒ *hi* フ *fu* ヘ *he* ホ *ho* マ *ma* ミ *mi* ム *mu* メ *me* モ *mo*

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

す

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

す

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

ト

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

つ

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

ぬ

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

ふ

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

む

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

な

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

む

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

む

古今 *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin* *koron kōjin*

て

ナリテ さまのいふことにはまことなりけり
同率 わがふにちかきものごとく
ナリテ きのふのちかきものごとく
拾遺 ひとしきるものごとく
ニヤテ しのむものごとく
古今 ともよむものごとく
四三テ ともよむものごとく
古今 ともよむものごとく
ナリテ ともよむものごとく
後撰 ともよむものごとく
ナリテ ともよむものごとく
古今 ともよむものごとく

ね

へ

め

め

れ

過去

現在

過去の

まの

ニヤテ ながきものごとく
古今 ともよむものごとく
四三テ 一日社人母待告長氣乎如此所待者有不得勝 告ハ志所ハ耳ノ誤
後撰 ともよむものごとく
古今 ともよむものごとく
拾遺 ともよむものごとく

和泉式部集

結詞例

5

昔今 諸君の御覧の如く、
古今 諸君の御覧の如く、

78

今昔 諸君の御覧の如く、
今昔 諸君の御覧の如く、

同 諸君の御覧の如く、
同 諸君の御覧の如く、

大分 諸君の御覧の如く、
大分 諸君の御覧の如く、

續後紀 諸君の御覧の如く、
續後紀 諸君の御覧の如く、

79

今昔 諸君の御覧の如く、
今昔 諸君の御覧の如く、

80

今昔 諸君の御覧の如く、
今昔 諸君の御覧の如く、

81

今昔 諸君の御覧の如く、
今昔 諸君の御覧の如く、

同 諸君の御覧の如く、
同 諸君の御覧の如く、

同 諸君の御覧の如く、
同 諸君の御覧の如く、

十九ナニナ いそふはなれはなかなたけあまのこはさしんじいねきかみこそ カレ

古今 しはくしよのちをいふまへいふまへいふまへいふまへいふまへいふまへ オモハ

六ロク あめあまのこいしよななななななななななななななななななな オモハ

三サン いふまへいふまへいふまへいふまへいふまへいふまへいふまへ オモハ

九ク きのくみももどくももどくももどくももどくももどくももどくももどく オモハ

本傳傳 あまうのうつせきをうみづうねよあひみそこせねうてれえだく オモハ

此ハこそとねとのこのねがひ詞をかきねて云るよて

いこく欲一とるときまよいふことなり。さてこそをねの

詞は連ぬるよひうれてをせよ轉一とるよて。詠りて

こそをこそと云るよハ非ず。

同上
こそ

四ヨ なをいふまへいふまへいふまへいふまへいふまへいふまへいふまへ
十ジュウ あれゆのちうまれむいふまへいふまへいふまへいふまへいふまへ

此ハこそを莫し連ぬるよひうれて。そをまよ轉一てい
ゝるなり。

同上
こそね

五ゴ うめはなけいひさしんじいねきかみこそ
十ジュウ いれなむいふまへいふまへいふまへいふまへいふまへいふまへ

此ハこそとねとのこのねがひ詞を重ねて云るを。ちと
と云連ねとるよひうれて。ねをねよ轉一ぬよ連ぬるよ
ひうれて。そをせよ轉一とるなり。

同上
こそ

催馬樂 うめはなけいひさしんじいねきかみこそ
伊勢物語 あまうのうつせきをうみづうねよあひみそこせねうてれえだく

此ハこそを詠とるなり

十一 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ	十一 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ	十一 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ	十一 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ	十一 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ	十一 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ	十一 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ 十 _三 ぬむ
--	--	--	--	--	--	--

まなび人の思ひまごころことなるがゆゑよ志むらく
右の次よあげていせしうちとせるものなり。

都々之部

十 _三 徒 古今	十 _三 も 古今	十 _三 こ 古今	十 _三 の 古今
------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

古今 うめたせしきふもなるともさしきふもなるともさしきふもなるとも

^{きん}二草 $u\text{me}tase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
^{きん}三草 $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$

古今 山川よりわたしのなづけたるをよめ

源氏 たちよりの舟よりののののののののののの

^{同上}ゆ又よ $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
^{同上}四草 $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
^{同上}五草 $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$

^{きん}より $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
^{同上}六草 $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
^{同上}七草 $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
^{同上}八草 $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$

^{同上}ゆ又よ $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
^{同上}九草 $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
^{同上}十草 $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
^{同上}十一草 $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$

^{きん}より $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
詞花 播磨守よ侍けるまき三月がうり舟よりのがり侍けるふ

^{同上}よ $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
記 あちぬたぬるさきくはるるさきくはるるさきくはるるさきくはるるさきくはるる

^{きん}より $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
十一草 あひふまきたたむるさきくはるるさきくはるるさきくはるるさきくはるるさきくはるる

^{同上}よ $u\text{metase\text{shiki}fumo\text{nanarumotosekishikifumonarumotosekishikifumonarumotose}kifumonarumotose$
十二草 さきくはるるさきくはるるさきくはるるさきくはるるさきくはるるさきくはるるさきくはるる

此、外よもなを異ある意あるあれど言長くなるゆゑに
こよひしくくがくくくをくくくく別よ論入り。

○以下くはくはくの詞の例をいだし

廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

とて

古今 万葉 以後のよとての意をもちこれなり。よく

とて

古今 万葉 以後のよとての意をもちこれなり。よく

古を考てあるべし。古今よりこなとよいとこと云
たることいと多て常のことなり。や、古くハ延
喜式鎮火祭祀詞よとてある。それをおきて古言
よとてといへることなし。
此外おもなハ異ある意あるあれども、こと長くなるゆ
ゑよこよいつくがこくをくハ別ハ論入り。

○以下くさぐさのみれ詞の例をいだし

み

三十五 ころうせみのいめちをばみ「み」なみよひでいらさの「み」まじまわかつたむ
三十五 ころうみねのいめちをばみ「み」なみよひでいらさの「み」まじまわかつたむ

み

三十五 ころうみねのいめちをばみ「み」なみよひでいらさの「み」まじまわかつたむ

み ミ

四十三 ミ せんみせのついでに
 三十三 ミ せんみせのついでに
 金槐 ミ せんみせのついでに
 同 ミ せんみせのついでに
 三十三 ミ せんみせのついでに
 六十六 ミ せんみせのついでに
 土左記 ミ せんみせのついでに

撰集抄

み ミ

三十三 ミ せんみせのついでに
 十五 ミ せんみせのついでに
 古今 ミ せんみせのついでに
 後撰 ミ せんみせのついでに

み ミ

三十三 ミ せんみせのついでに
 金槐 ミ せんみせのついでに
 八十一 ミ せんみせのついでに
 三十三 ミ せんみせのついでに

み ミ

三十三 ミ せんみせのついでに
 三十三 ミ せんみせのついでに
 六帖 ミ せんみせのついでに
 後撰 ミ せんみせのついでに

み ミ

三十三 ミ せんみせのついでに
 三十三 ミ せんみせのついでに
 六帖 ミ せんみせのついでに
 後撰 ミ せんみせのついでに

○以下くさぐさの詞比例をうたぐ

せ セ

記 セ せんみせのついでに
 紀 セ せんみせのついでに

六十一 六十一 六十一 六十一 六十一 六十一 六十一 六十一 六十一 六十一
はみまふんやうかかあら

六十二 六十二 六十二 六十二 六十二 六十二 六十二 六十二 六十二 六十二
うたふんやうかかあら

結び詞をたきなむら下へくる格

六十三 六十三 六十三 六十三 六十三 六十三 六十三 六十三 六十三 六十三
六十四 六十四 六十四 六十四 六十四 六十四 六十四 六十四 六十四 六十四
六十五 六十五 六十五 六十五 六十五 六十五 六十五 六十五 六十五 六十五
六十六 六十六 六十六 六十六 六十六 六十六 六十六 六十六 六十六 六十六
六十七 六十七 六十七 六十七 六十七 六十七 六十七 六十七 六十七 六十七
六十八 六十八 六十八 六十八 六十八 六十八 六十八 六十八 六十八 六十八
六十九 六十九 六十九 六十九 六十九 六十九 六十九 六十九 六十九 六十九
七十 七十 七十 七十 七十 七十 七十 七十 七十 七十
後撰 あひまふんやうかかあら

いひのけよて結び詞を畧まくる格

三十一 三十一 三十一 三十一 三十一 三十一 三十一 三十一 三十一 三十一
後撰 なみまふんやうかかあら

動のぬ詞よかりよ動く詞をそして結べる格

三十二 三十二 三十二 三十二 三十二 三十二 三十二 三十二 三十二 三十二
三十三 三十三 三十三 三十三 三十三 三十三 三十三 三十三 三十三 三十三
三十四 三十四 三十四 三十四 三十四 三十四 三十四 三十四 三十四 三十四
三十五 三十五 三十五 三十五 三十五 三十五 三十五 三十五 三十五 三十五
三十六 三十六 三十六 三十六 三十六 三十六 三十六 三十六 三十六 三十六
三十七 三十七 三十七 三十七 三十七 三十七 三十七 三十七 三十七 三十七
三十八 三十八 三十八 三十八 三十八 三十八 三十八 三十八 三十八 三十八
三十九 三十九 三十九 三十九 三十九 三十九 三十九 三十九 三十九 三十九
四十 四十 四十 四十 四十 四十 四十 四十 四十 四十
後撰 あひまふんやうかかあら

みのみことかこみあをくむのとなびくやまをこえ
てきぬあもなどあるいきぬるものといふべきをぬと
のこいへるなり。又十四丁をつくそのねろよつくこ
しあひごよいさをごなりぬをまらねてむらもとある
も。なりぬるをの意なり。同廿丁あぜといへるさぬよあ
をなくままひくれてよひないこあよあけぬ志どくる
とあるもあけぬるの意あり。この外もぬるといふべ
きをぬとのみ云る所あり。

七十一 むごはのみづをさるみのほろまはあぶくんぎちぬきよけるもの
按よるを重ねたるも例あることよて。前よ出せり。
あるに。このをやみのれり。このれ例どもといふ
かひて。志らべるとのひづと。舊本よ。水尾急嘉と

ある。嘉の目されぬ字を。此假字よ用とりとせむ
こと穩ならん。これふより思ふふ。嘉ハ見跡など
の二字を。草書より誤りたるあらむ。さらば。むこあ
は比みを。そやみとあまのあぶく。さぎちふ
ぬれよけるもの。と訓べ。

三十一 志らむはぬびくものあをくむのあまの
なるひといあのみあのみきよまらむあはぬのきよまらむ

按よ。舊本よ。妾耳鴨君尔戀盪吾耳鴨夫尔戀禮薄と
あり。上の妾耳鴨ハ。ことよなけれど。下よ吾耳鴨
とありてハ。禮薄とあるふかあを。これふよりて
思ふよ。吾耳鴨ハ。師字などよてありけむを。上の妾

六事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

紀 ちかむのちせりぬをたのむにふかふてなむのちせりぬ

すけり

六事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

三事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

八事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

七事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

十三事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

十七事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

十九事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

すけり

六事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

七事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

すけり

三事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

四事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

五事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

同事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

八事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

七事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

十三事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

十四事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

同事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

同事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

十五事 かくらふしやのうらなひをたのむにふかふてなむのちせりぬ

えゆ

十廿三 十廿四 十廿五 十廿六 十廿七 十廿八 十廿九 十三十

えす

十廿一 十廿二 十廿三 十廿四 十廿五 十廿六 十廿七 十廿八 十廿九 十三十

えん

十廿一 十廿二 十廿三 十廿四 十廿五 十廿六 十廿七 十廿八 十廿九 十三十

えん

十廿一 十廿二 十廿三 十廿四 十廿五 十廿六 十廿七 十廿八 十廿九 十三十

えん

十廿一 十廿二 十廿三 十廿四 十廿五 十廿六 十廿七 十廿八 十廿九 十三十

えん

十廿一 十廿二 十廿三 十廿四 十廿五 十廿六 十廿七 十廿八 十廿九 十三十

えん

十廿一 十廿二 十廿三 十廿四 十廿五 十廿六 十廿七 十廿八 十廿九 十三十

えん

十廿一 十廿二 十廿三 十廿四 十廿五 十廿六 十廿七 十廿八 十廿九 十三十

えん

十廿一 十廿二 十廿三 十廿四 十廿五 十廿六 十廿七 十廿八 十廿九 十三十

結詞例

十廿四

廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

助辞
い

四十三 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

三十九 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

十八 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

同上
る

四十三 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

此外はかゝるべの助辞あれど人の耳は遠らぬこと
こよ累けり。

五十九
六十

五十九 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十
六十 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

二十 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

五十一 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

三十一 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

同 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

此歌のひつきを舊本は月日といふれども字は
を泥むべきは非ず他の例も依てひつきと訓べし

十九 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

三十一

同 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

此二首歌のつきひを舊本は日月とかきこれども
字よりなづむべし他例よりてつきひと

訓べ。

三十一 つぎ ひ と 云 と の か を り を さ と せ る あ り
 四十一 つぎ ひ と 云 と の か を り を さ と せ る あ り
 五十一 つぎ ひ と 云 と の か を り を さ と せ る あ り
 六十一 つぎ ひ と 云 と の か を り を さ と せ る あ り
 七十一 つぎ ひ と 云 と の か を り を さ と せ る あ り
 八十一 つぎ ひ と 云 と の か を り を さ と せ る あ り
 九十一 つぎ ひ と 云 と の か を り を さ と せ る あ り
 十 つぎ ひ と 云 と の か を り を さ と せ る あ り

按よ。つぎひといふことの常されど。ひつきといへるは。今世の人よの耳速き如くされど。ひつきといへる例を出せるよちなみて。つぎひと云る例をもあせせあげて。

ひつきと云とつぎひと云とのかをりをさとせるあり。きべて古ハ。天地日月をいふときをひつきとのみいひ年月時日を云ときハつきひとのみいひてわたり。續紀宣命などを考へてさとりべし。志あるを此をひとつよまぎらをして。かあらずひつきと云べきをも。つきひとのみいふを。いみつきひごことなり。さてつきひと云ところよ。日月ともかきころる。うみやまを山海よるひるを晝夜とかけると同ト。漢字よかけるとのされば。うごぶべきよあらざ。

の^と通

五十一 つぎ ひ と 云 と の か を り を さ と せ る あ り

あ

十廿十 あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あ

十廿十 あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あ

十六廿 あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あ

十廿十 あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あ

十廿十 あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あ

十廿十 あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あ

十廿十 あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あ

五十四十 あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あ

同廿十 あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あ

十廿十 あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あはれよつく詞を第二句の頭よおける例

十廿十 あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

十四丁 おもひきれだほそそけしゆりなむなむすびきゆきぬさぬて
十五丁 かんむりかひたかぶりさぬかゆきゆきぬさぬて

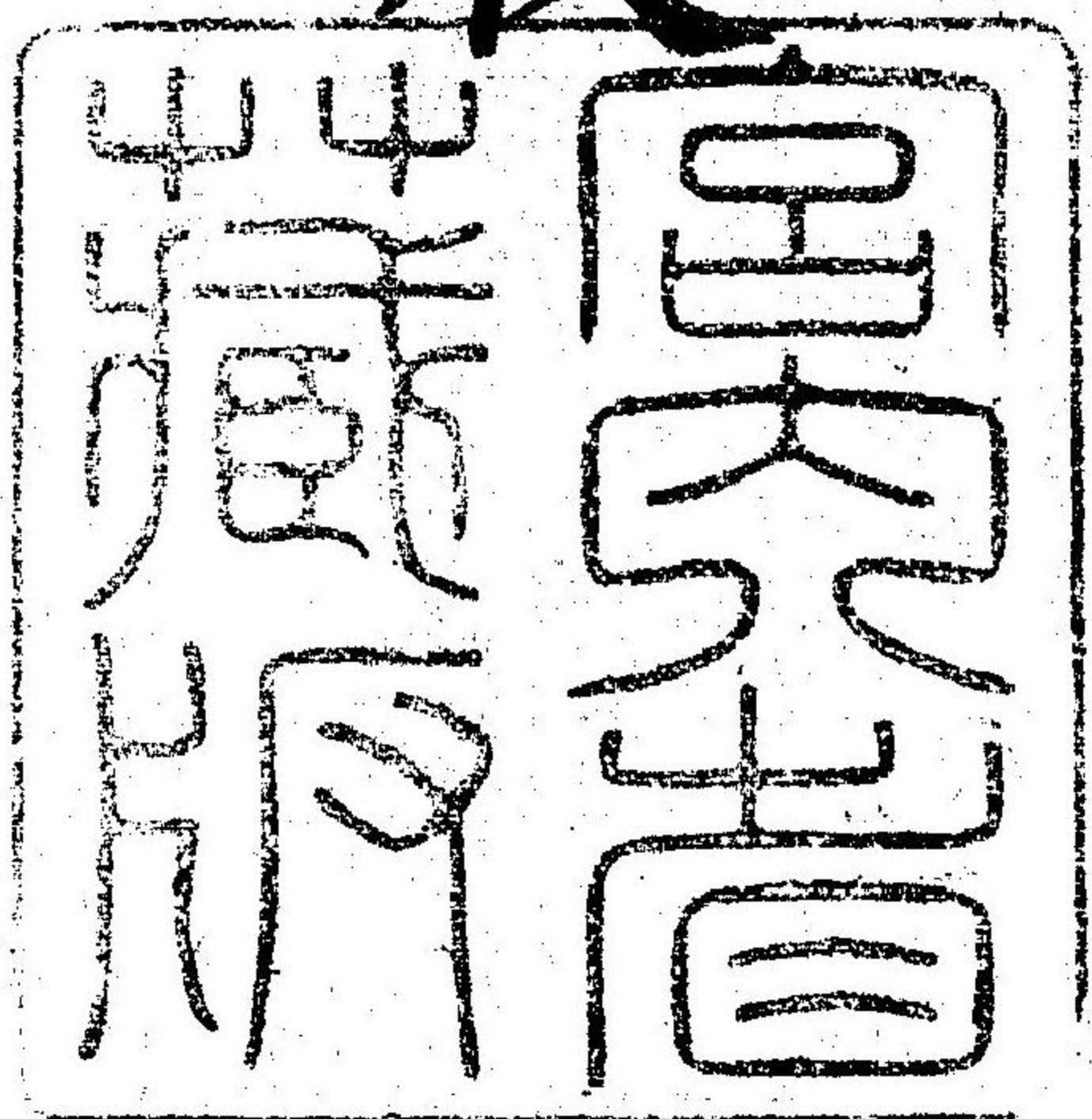
序をおきしるまゝの例

十六丁 かみあひむすぬさぬて
十七丁 かむさぬて
十八丁 かむさぬて
十九丁 かむさぬて
二十丁 かむさぬて
二十一丁 かむさぬて
二十二丁 かむさぬて
二十三丁 かむさぬて

二十四丁 かむさぬて
二十五丁 かむさぬて
二十六丁 かむさぬて
二十七丁 かむさぬて
二十八丁 かむさぬて
二十九丁 かむさぬて
三十丁 かむさぬて
三十一丁 かむさぬて
三十二丁 かむさぬて
三十三丁 かむさぬて
三十四丁 かむさぬて
三十五丁 かむさぬて
三十六丁 かむさぬて
三十七丁 かむさぬて
三十八丁 かむさぬて
三十九丁 かむさぬて
四十丁 かむさぬて
四十一丁 かむさぬて
四十二丁 かむさぬて
四十三丁 かむさぬて
四十四丁 かむさぬて
四十五丁 かむさぬて
四十六丁 かむさぬて
四十七丁 かむさぬて
四十八丁 かむさぬて
四十九丁 かむさぬて
五十丁 かむさぬて
五十一丁 かむさぬて
五十二丁 かむさぬて
五十三丁 かむさぬて
五十四丁 かむさぬて
五十五丁 かむさぬて
五十六丁 かむさぬて
五十七丁 かむさぬて
五十八丁 かむさぬて
五十九丁 かむさぬて
六十丁 かむさぬて
六十一丁 かむさぬて
六十二丁 かむさぬて
六十三丁 かむさぬて
六十四丁 かむさぬて
六十五丁 かむさぬて
六十六丁 かむさぬて
六十七丁 かむさぬて
六十八丁 かむさぬて
六十九丁 かむさぬて
七十丁 かむさぬて
七十一丁 かむさぬて
七十二丁 かむさぬて
七十三丁 かむさぬて
七十四丁 かむさぬて
七十五丁 かむさぬて
七十六丁 かむさぬて
七十七丁 かむさぬて
七十八丁 かむさぬて
七十九丁 かむさぬて
八十丁 かむさぬて
八十一丁 かむさぬて
八十二丁 かむさぬて
八十三丁 かむさぬて
八十四丁 かむさぬて
八十五丁 かむさぬて
八十六丁 かむさぬて
八十七丁 かむさぬて
八十八丁 かむさぬて
八十九丁 かむさぬて
九十丁 かむさぬて
九十一丁 かむさぬて
九十二丁 かむさぬて
九十三丁 かむさぬて
九十四丁 かむさぬて
九十五丁 かむさぬて
九十六丁 かむさぬて
九十七丁 かむさぬて
九十八丁 かむさぬて
九十九丁 かむさぬて
百丁 かむさぬて

明治廿六年十一月廿八日印刷
同 廿六年十二月一日發行

宮内省藏版



印刷人

吉川半七

京橋區南傳馬町
壹丁目十二番地

